

FESTIWAL
FILMÓW
POLSKICH
2020



ポーランド 映画祭 2020

監修: イェジー・スコリモフスキ

主催: CULTURE.PL、ポーランド広報文化センター、スコピャ・フィルム、マーメイドフィルム、VALERIA
後援: 駐日ポーランド共和国大使館 配給: マーメイドフィルム、コピャポア・フィルム 宣伝: VALERIA

11.20 [金] ▶ 11.26 [木]

東京都写真美術館ホール ※11/24(火)休館

www.polandfilmfes.com



ポーランド映画祭 2020

今年で9回目となるポーランド映画祭。コロナ禍の中でギリギリまで開催すべきかどうか検討を重ねてまいりましたが、このような状況だからこそ少しでもポーランド映画の持つ力を感じて頂きたい開催を決定いたしました。例年と比べ短い期間ではございますが、今年もぜひポーランド映画祭にお越しください。

★11/20(金)上映前にマリア・ジュラフスカさん(ポーランド広報文化センター所長)、11/22(日)上映前にバウエ・ミレスキさん(駐日ポーランド共和国大使)の挨拶があります。

デカログ Dekalog HDリマスター版

監督:クシシュトフ・ケシロフスキ Krzysztof Kieslowski
1989-90年 / ポーランド語 / 585分 / カラー © TFP - Telewizja Polska S.A.

旧約聖書の十戒をモチーフに、ワルシャワの巨大アパートに暮らす人々の人生模様を綴った585分の連作集。テレビドラマとして製作されたものの、その質の高さが大きな話題を呼び1989年ヴェネチア国際映画祭で上映、後に世界で劇場公開された。キューブリックら世界の名だたる映画監督も絶賛したケシロフスキ監督の代表作。



11/21 日 10:30
11/23 月(祝) 15:30



11/21 日 10:30
11/23 月(祝) 15:30



11/21 日 13:00
11/25 水 10:30



11/21 日 13:00
11/25 水 10:30



11/21 日 15:30
11/25 水 13:00

第1話 / 56分 (第1話・2話併映) ある運命に関する物語

出演:ヘンリク・バラノフスキ、グワイチェフ・クラタ

大学教授のクシシュトフは息子のバグヴェとふたり暮らし。理性とその象徴であるPCを信じる父は、息子に計算を教えている。二人は近所の池の水の厚さを測り、安全にスケートで滑れると割り出す。ところが…

第2話 / 59分 (第1話・2話併映) ある選択に関する物語

出演:クリスティナ・ヤンダ、アレクサンデル・バルディーニ

危険状態の夫を愛しながらも別の相手との身ごとになってしまうドクトラ。彼女は孤獨な老医師に、夫が助かるのであれば子供をおろすという。果たして医師の助言とは。

第3話 / 58分 (第3話・4話併映) あるクリスマス・イヴに関する物語

出演:ダニエル・オルブリスカ、マリア・バタリス

家族とイヴを祝っていたヤヌシュの前に、かつての恋人エヴァが現れる。行方不明になった現在の恋人を一瞬だけ抱きかかえたいというエヴァの申し出を引き受けるヤヌシュだったが…

第4話 / 58分 (第3話・4話併映) ある父と娘に関する物語

出演:アドリアン・ビロジンスカ、ヤヌシュ・ガリス

ミハウが出張の度に持ち歩くのは娘アンカに宛てた手紙。死後開封するよう書かれたこの手紙を、ある日自宅で見発見するアンカ。そこには彼女を産んだすぐに死んだ母の遺言があった。

第5話 / 60分 (第5話・6話併映) ある殺人に関する物語

出演:ミロスワフ・バラ、クシシュトフ・ボシニ

タクシードライバーを殺害した死刑の判決が下された若者、彼を救えなかった弁護士。本作は再編集された長編として公開、カンヌ国際映画祭の審査員賞、国際映画批評家連盟賞などを受賞。

ヨハネ・パウロ2世 生誕100年記念

ヨハネ・パウロ2世 あなたを探し続けて

Jan Pawel II. Szukalem Was...

監督:ヤロスワフ・シズミット

Jaroslaw Szmidt

2011年 / ポーランド語 / 90分 / カラー



ポーランド人初のローマ教皇、ヨハネ・パウロ2世のドキュメンタリー。その親しみやすさ、開かれた心、ユーモアセンスによって世界中に愛された彼の生きた様やメッセージの数々。2020年は生誕100年にあたり、ポーランドでは「聖ヨハネ・パウロ2世の年」と定められている。今回はそれを記念しての上映。

11/20 日 10:30★ 11/22 日 15:30★

クシシュトフ・ケシロフスキ Krzysztof Kieslowski

1941年、ワルシャワ生まれ。名門ウッチ映画大学で学び、66年に初の短編映画を手がける。以後ドキュメンタリーを中心に製作、79年の『アマチュア』でモスクワ国際映画祭金賞を受賞し国際的に注目される。大作『デカログ』を経て発表した『ふたりのベロニカ』(91)と『トリコロル三部作』(93-94)によってカンヌ、ヴェネチア、ベルリンの三大映画祭の各賞を制覇。その後の活躍が期待されるも96年に54歳で逝去。



© ポーランド映画芸術家連盟



11/21 日 15:30
11/25 水 13:00



11/23 月(祝) 10:30
11/26 土 10:30



11/23 月(祝) 10:30
11/26 土 10:30



11/23 月(祝) 13:00
11/26 土 13:00



11/23 月(祝) 13:00
11/26 土 13:00

第6話 / 61分 (第5話・6話併映) ある愛に関する物語

出演:グラジナ・シヤボワフスカ、オラフ・パルセンコ

向かいのアパートに住む美しい女性マグダを、じつと見つめる続ける19歳のトメク。あの手この手を使って彼女に接近しようと試みるが…。本作も再編集されて単独で公開、高く評価された。

第7話 / 58分 (第7話・8話併映) ある告白に関する物語

出演:アンナ・ボロメイ、マヤ・バラウコフスカ

16歳で私生児を産んだマイカ。校長だった母はスキャンダルを避け、私生児を自らの「娘」として育てる。7年後、マイカは真実を娘に告白し、娘の父の父にふたりで会いに行く。

第8話 / 57分 (第7話・8話併映) ある過去に関する物語

出演:マリア・コシュチャコフスカ、クレシラ・マルチエフスカ

生徒から人気の倫理学教授ゾフィア。講義で「生まれる命の大切さ」を説いていた彼女に一人の女性の質問が。それはゾフィアが抱えてきたある過去を呼び起こすものだった。

第9話 / 61分 (第9話・10話併映) ある孤独に関する物語

出演:エヴァ・ブラスチク、ビョーネル・マハリアフ

性的不能に陥り、回復の見込みがないと知らされたロメク。自尊心を失った夫を妻のハンカとして育てるもの、彼女には若い愛人がいた。ハンカは愛人との関係を変えようとするが…

第10話 / 57分 (第9話・10話併映) ある希望に関する物語

出演:ズビグネフ・マホメス、イェジー・シムウル

父の死に間に合ったバンクロッカーの弟とサリマンの兄。彼らは父の遺品である切手コレクションに価値がつくことを知り有頂天になるものの、その宝の山が突然消失…

ポーリッシュ・シネマ・ナウ!

聖なる犯罪者

Boże Ciało

監督:ヤン・コマサ Jan Komasa

2019年/ポーランド語/115分/カラー

© 2019 Free Range Films Limited The British Film Institute / Curzon Film Rights 2 and Channel Four Television Corporation



少年院を仮釈放となったダニエルは、ふと立寄った教会で新任の司教と勘違いされ司教の代わりを命じられる。聖破りな言動に村人たちは戸惑うが、徐々に信頼されるようになり…。ポーランドのアカデミー賞とされる「2020 Only Eagle Awards」で作品賞をはじめ11部門を受賞。その後も世界中の映画祭で計40の賞を獲得した他、アカデミー賞外国映画賞にもノミネートされた。

11/22 日 10:30 11/26 日 15:30 ★上映前に3分程度の解説動画が付きま。

ヤン・コマサ

Jan Komasa

1981年、ポーランドのボズナンシ生まれ。長編デビュー作『スーサイド・ルーム』(11)がベルリン国際映画祭パノラマ部門に出品され話題を呼び、続く『リベリオン・ワルシャワ大攻防戦』(14)は本国で大ヒットを記録。フェイクニュースを題材にした『ヘイター』(20/Netflixにて配信)に、トライベッカ映画祭のインターナショナル・ナラティブ部門で最優秀作品賞を受賞。今世界で最も注目される若手監督のひとり。



『聖なる犯罪者』2021年1月15日より公開! 配給:ハーク

マルツェル・ウォジンスキの世界

反骨精神あふれるドキュメンタリー監督として、時代の変動を見つめ続けてきた記録映画監督のマルツェル・ウォジンスキ。今年80歳になる彼の、社会と向き合う真摯な姿勢と軽妙な語り口が味わえる3本の傑作短編を上映。

11/20 日 15:00 11/22 日 13:00

★上映前にアダム・ミンクヴィチ・インスティテュートのフィルムエクスパートであるグジェゴシ・スコルプスキによるマルツェル・ウォジンスキについての紹介動画10分程度が付きま。



マイクテスト

Próba mikrofonu

監督:マルツェル・ウォジンスキ Marcel Łoziński

1980年/ポーランド語/19分/モノクロ

化粧品工場「ボレ・ウロダ」の従業員たちに、ワルシャワのラジオ局員であるジャーナリストが突撃インタビュー。抑圧的な政権下でも逞しく生きる人々の建前と本音とは。



なにがあっても大丈夫

Wszystko może się przytrafić

監督:マルツェル・ウォジンスキ Marcel Łoziński

1995年/ポーランド語/39分/カラー

雄叫びを上げながら公園を駆け抜ける6歳の少年。彼はベンチに付み見知らずの老人たちに無邪気で深遠な質問を投げかける。果たして大人たちはどう答えるのか…?



配達されなかった手紙

Poste Restante

監督:マルツェル・ウォジンスキ Marcel Łoziński

2009年/ポーランド語/14分/カラー

宛先不明で届けられなかった大量の手紙。そこには大切な人や天国にいてであろう神様への思いが込められたものも含まれているが、やがてすべてはスクラップされる運命に。

アンコール上映

来年2021年に生誕100年を迎えるスタニスワフ・レム

ソラリスの著者

Autor Solaris

監督:ボリス・ランコシュ Borys Lankosz

2016年/ポーランド語/56分/カラー

© Lankosz, Fotografia wykonana w firmie Autor Solaris



SF小説の金字塔「ソラリス」の著者スタニスワフ・レムの謎に挑む、『裏面』(09)の監督ボリス・ランコシュによるドキュメンタリー伝記映画。ユダヤ知識人の家に生まれながらホロコーストを生き延び、SFの世界に新たな地平を切り拓いたレムの生涯と作品に隠された秘密を研究者や翻訳家、レムの甥らが語る。レムの写した8ミリ映像、フィリップ・K・ディックの未公開書簡、レム自身の朗読肉声も初収録。

11/20 日 13:30 11/25 日 16:00 ★上映前に3分程度の解説動画が付きま。

スタニスワフ・レム

Stanisław Lem

1921年、ポーランド領ルヴフ(現ウクライナ・リヴィウ)生まれ。父はユダヤ系の医師で、ナチス占領下では素性を隠し自動車工などをして生計を立てる。戦後医学を学び、在学中から雑誌に小説や詩が掲載。50年代から60年代にかけて地球外生命体とのコンタクトをテーマにした三部作『エデン』『ソラリス』『砂漠の惑星』などを発表。その後も精力的に活動し20世紀を代表するSF作家として君臨。2006年死去。



Stanisław Lem 1963 © Lemniz, Fotografia wykonana w firmie Autor Solaris

FESTIWAL FILMÓW POLSKICH 2020



イエジー・スコリモフスキ監督(監修)から 日本の皆さまへ

親愛なる日本の皆様。毎年ご好評頂いているポーランド映画祭も今年で9回目を迎えることとなりました。まずはこれほど長きにわたって開催できたことを感謝いたします。ご承知の通り、現在世界はコロナ禍の中にあります。毎年私も皆様にお会いするのを楽しみにしていましたが、今年は残念ながら日本に伺うことはできません。しかし今回は非常に充実したラインナップをご用意しました。最高の映画監督にして私の友人でもある若き鬼才ヤン・コマサの新作。そして偉大なるキェシロフスキ監督の伝説的な作品。他にも我が国の誇る意欲作の数々。私の心は皆様とともにあります。これらの作品を通して皆様とお会いできますことを心より楽しみにしております。

イエジー・スコリモフスキ

Janusz Kosinski

© Macing Komarowski

ポーランド映画祭 2020

11.20 [金] ▶ 11.26 [木]

※11/24(火)休館

11/20(金)	10:30★ ヨハネ・パウロ2世 あなたを探し続けて	13:30 ソラリスの著者	15:00 マルツェル・ウォジンスキの世界
11/21(土)	10:30 デカログ 1話・2話	13:00 デカログ 3話・4話	15:30 デカログ 5話・6話
11/22(日)	10:30 聖なる犯罪者	13:00 マルツェル・ウォジンスキの世界	15:30★ ヨハネ・パウロ2世 あなたを探し続けて
11/23(月) (祝)	10:30 デカログ 7話・8話	13:00 デカログ 9話・10話	15:30 デカログ 1話・2話
11/24(火)休館			
11/25(水)	10:30 デカログ 3話・4話	13:00 デカログ 5話・6話	16:00 ソラリスの著者
11/26(木)	10:30 デカログ 7話・8話	13:00 デカログ 9話・10話	15:30 聖なる犯罪者

トークイベント!

★11/20(金)10:30 [ヨハネ・パウロ2世]

●上映前、ポーランド映画祭開幕挨拶

マリア・ジュラフスカさん

(ポーランド広域文化センター所長)

★11/22(日)15:30 [ヨハネ・パウロ2世]

●上映前挨拶

バグヴェ・ミレフスキさん

(駐日ポーランド共和国大使)

*新型コロナウイルス感染症対策で夜間の上映がない為、急遽11月25日(水)、26日(木)の2日間が追加になりました。

*マルツェル・ウォジンスキ監督作品上映前に10分程度の監督紹介についての解説が入ります。

*トークイベントは登場者の都合により中止になることもございますので、予めご了承ください。

ポーランド文化情報!

◆クラクフ ドラゴンとドラゴン展

会期:2020年11月14日~2021年1月24日

会場:すみだ北斎美術館(東京都墨田区亀沢2-7-2)

ポーランド人アーティスト6名による「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展を開催。ポーランドの「日本美術技術博物館マンガ」との、友好協力協定締結1周年記念展示。



当日料金:一般1,500円/シニア1,100円

大学・高校・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方1,000円

●午前10時より1F受付にて各回の受付を開始致します。●ご購入されたチケットの

変更・取り消しはできません。●ホール及び美術館内でのご飲食はご遠慮ください。

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館ホール

TEL 03-3280-0099 (代案) www.topmuseum.jp

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分